

平成29年度 第1回逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画懇話会会議概要

日時 2017年(平成29年)6月20日(火)

午前9時30分から11時03分

場所 市庁舎5階 第4会議室

議題

- (1) 平成28年度の実績報告
- (2) 逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画進行管理表に係る意見聴取について
- (3) その他

意見概要

議題(1) 平成28年度の実績報告

●互いに支え合う地域づくりについて

- ・避難支援を必要とする人の避難支援については、避難の手段や方法を考えることだけでなく、支援される者の目線に立つことも重要ではないか。

(総括意見)

- ・地域のサポート体制・コーディネート体制は整ってきているようだ。今後、サポートが受けられることを地域住民が実感し、相談が適切なところへ寄せられるようになると、これまで挙がってこなかったような課題が地域へ挙げられることも増えていくだろう。今後は、介護等において、公的なサービスではまかないきれない課題も増えていくことが予想されるので、生活支援コーディネーターのような役割を担う人が地域の中にも派生し、公的な機関と連携・連動して解決が図られていく仕組みが求められる。
- ・災害時要支援者のプラン作成については、プランそのものに加えて、作成過程において意見交換をしたり、地域の情報を共有したりすることも重要であるので、課題意識を持って、市内全域へ広めていってほしい。

●互いに支え合う人づくり、互いに支え合う環境づくりについて

- ・地域住民の困りごとを解決へ向けて適切な部署へつなげられるよう、行政、社協、市内の活動団体等についても住民自治協議会へ情報提供してほしい。

(総括意見)

- ・問題を早期に解決するためには、情報の発信、共有化が重要である。また、制度や抱える問題が多様化している中においては、情報を発信する側には伝え方を工夫することが求められ、受け取る側はその情報を読み解く力を身につけなければならない。それは、広く福祉力にもつながっていくだろう。

- (2) 逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画進行管理表に係る意見聴取について
- ・各計画については、進行管理の評価の部分だけでなく、計画の内容についても連携が図られるべきである。
 - ・計画を推進していく中で、行政、社協、地域住民、それぞれの役割が定まってきたが、想定を超えた問題も噴出している。国の制度が頻繁に変わる中ではあるが、行政、社協、地域住民が連携を図って対応していく必要がある。

(総括意見)

- ・行政、社協は、懇話会等の場で、地域からの意見聴取に努め、計画の推進へ反映させていくことが重要である。
- ・各種計画が推進されている中で、成果を享受する立場にあるのは同じ地域住民であるので、連携が図られるべき事柄については、地域住民側からも積極的に発信していく必要がある。